

## 鹿児島大学定例記者発表

日時 令和8年2月6日（金） 15時00分～16時00分

場所 鹿児島大学事務局 特別会議室（4階）

発表内容

①鹿児島大学の将来構想 （鹿児島大学長 井戸 章雄）

- ・奄美サテライトキャンパス構想
- ・鹿児島大学 Fan Club 設置

②SATREPS（地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム）  
水稻の再生力を活用した多回収穫稲作技術体系の開発

（農学部教授 坂上 潤一）

③傷がよく治る！革新的キトサンヒドロゲル

（理工学研究科教授 武井 孝行）

④スマート計量で実現する水産物流通デジタル情報プラットフォーム

（水産学部准教授 江幡 恵吾）



# 「TSUMUGU AMAMI キャンパス」地方創生事業

つ む ぐ あ ま み

～地域と大学が紡ぎ織る奄美群島の未来～

地域人材を縦糸に高等教育（横糸）を紡ぎ織る



地方創生2.0の推進（広域リージョン連携）  
地域における社会課題への対応（関係人口の拡大と個性を活かした地域づくり）  
「知の総和」向上の未来像（高等教育の質の向上・アクセス確保）



奄美群島共創連携推進センター



全国大学等  
（研究者）

大学進学率の増加

地域への専門職人材の輩出

奄美大島共同キャンパスプラットフォーム  
＜産・官・学・金・言＞

U・Iターンの増加

大学生

研究者

医療機関

メディア・金融機関

小中高等学校

企業・事業者

教育委員会

社会教育関係団体

小中高生

社会人・  
専門職人材

自治体

【関係機関・関係者】  
奄美大島  
加計呂麻島  
与路島 請島  
徳之島

TSUMUGU AMAMI キャンパス  
＜奄美群島高等教育拠点＞

中長期滞在型実践教育

リカレント・リスキリング

【育成される人材】  
【社会的インパクト】

沖永良部島

社会教育人材

地域医療人材

知の環流

地方創生

多様な世代が活躍する未来

連携大学等  
（単位互換学生）

与論島

地域研究  
地域専門職人材の高度化  
高度専門職人材  
多様な関係人口づくり

【中高大学連携教育】  
学校教育人材

鹿児島大学  
公式ファンクラブの  
ご案内

鹿大  
ファン  
クラブ  
KADAI FAN CLUB

Coming  
soon!

## 鹿大とみんなでつくる未来は、 きっともっとおもしろい！

鹿児島大学は、2026年4月に

「鹿児島大学公式ファンクラブ」を設立いたします。

鹿児島大学に心を寄せてくださる皆さまと

つながり、集い、語り合える

かだい  
鹿大と未来をつくるコミュニティを目指しています。

鹿児島大学が主催するさまざまなイベントなどを通じて

大学の魅力を発信し、地域の皆さまとの交流を促進します。

あなたもファンクラブに参加し、より豊かな未来を一緒に築いてみませんか？

集まれ！  
鹿大さ〜ん！



お問い合わせ



鹿大ファンクラブへの  
学長の想い



公式 Instagram

鹿児島大学 FanClub 事務局（広報・渉外室）

E-MAIL :

kufc@kuas.kagoshima-u.ac.jp



なぜ今、  
ファンクラブ？

「鹿大さん」って  
呼びづらいんです！



@kadai\_fanclub

Instagramにて運営  
の様子を発信予定です。  
ぜひフォローください！

令和8年2月6日

## 鹿児島大学定例記者発表資料

鹿児島大学の特色ある研究・取組

農学部教授 坂上 潤一

### ● S A T R E P S

(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)

水稻の再生力を活用した多回収穫稲作技術  
体系の開発

E-mail: sakagami@agri.kagoshima-u.ac.jp

TEL&FAX:099(285)8543

<https://www.agri.kagoshima-u.ac.jp/agri0004/>





Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム

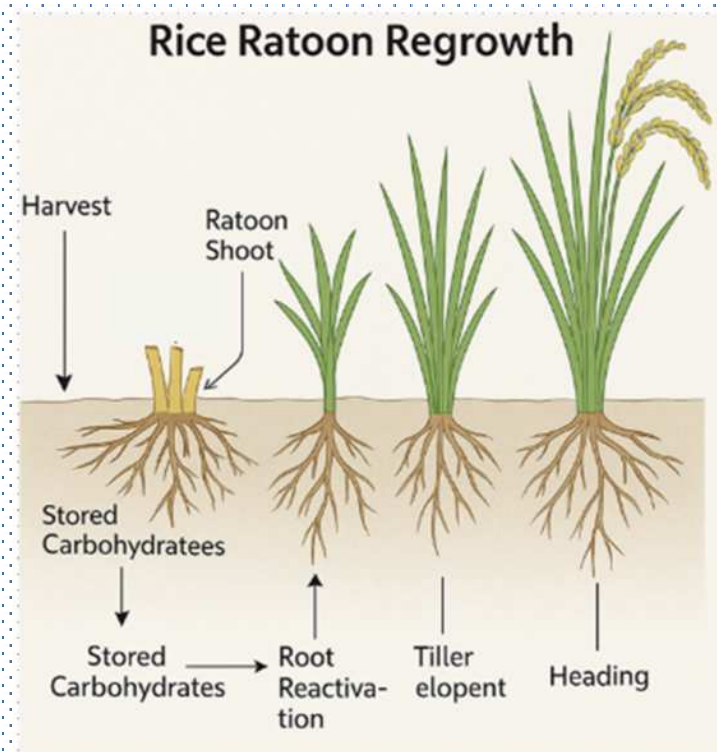


## DREAMRice Project

Project for the Development of  
Ratooning-based Eco-Applicable  
Multi-harvest Rice Production System

「水稻の再生力を活用した多回収穫  
稲作技術体系の開発」

鹿児島大学農学部 坂上潤一



定例記者発表／地域中核・特色ある研究大学強化促進事業、2026年2月6日



DREAMRice

# SATREPS の目標

- ① 日本と開発途上国との国際科学技術協力の強化
- ② 地球規模課題解決のための新たな技術の開発・応用および科学技術水準の向上につながる新たな知見の獲得
- ③ キャパシティ・ディベロップメント  
国際共同研究を通じた開発途上国の自立的な研究開発能力の向上と課題解決に資する持続的活動体制の構築、また、地球の未来を担う日本と途上国の人材育成とネットワークの形成



## 科学技術の振興

研究・開発、イノベーションの推進

## グローバルなニーズへの対応

地球規模課題の解決とそれに対する  
科学技術コミュニティの貢献

## 日本の能力とパワー

・世界をリードする高い技術力とこれまでの研究実績  
・ソフトパワー



## 国際協力

ODA・開発援助

## ローカルなニーズへの対応

開発途上国においてローカルなニーズとして露見している  
課題への対応&キャパシティ・ディベロップメント

## 途上国の能力とポテンシャル

・地球規模課題の研究フィールドや対象物、関連データや経験・知見  
・新たな市場・産業、グローバル・エコノミーへの貢献のチャンス







DREAMRice

# SATREPS の研究分野

## 環境・エネルギー分野

### 地球規模の環境課題

生態系・生物多様性の劣化、都市への人口集中、生産・消費活動の増大、環境汚染の拡大、気候変動など、地球規模で直面している環境課題の解決を目指します。



写真左：海岸部に漂着したプラスチックゴミをドローン空撮によって検出している様子（タイ）  
写真右：緑地帯の整備を訪問し、地下水の利用状況を確認している様子（ジブチ）

### カーボンニュートラル

温室効果ガスによる気候変動を緩和するカーボンニュートラルの実現を目指して、エネルギー消費の抑制、再生可能エネルギーの促進、スマートソサイエティなどの研究開発を行います。



写真左：バイオディーゼル燃料で走るハロン湾の観光船（ベトナム）  
写真右：CSS(Carbon dioxide Capture and Storage)パイロット事業に向けた工事の様子（インドネシア）

## 生物資源分野

気候変動は世界規模で様々な変化をもたらしており、生物資源の多様性および持続的な生産が脅かされています。食料、飼料、さらにエネルギー源など生物資源がもたらす恩恵を将来にわたって享受し続けるため、持続可能な生産・利用方策を提示します。



写真左：ドローンによる水田での生育調査（マダガスカル）  
写真中：家畜衛生防疫のマルチタスクシステムの開発（タイ）  
写真右：食糧安全保障を目的とした養殖法の開発（タンザニア、ツクテン等）（タイ）

## 防災分野

安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市・社会の実現を目指して、自然災害や都市化に伴う大規模災害の防災・減災に関する研究を、日本の経験・知見を生かしながら、全地球的な枠組みの中で総合的・組織的に展開します。



写真左：津波避難訓練に取り組み子供たち（メキシコ）  
写真右：フィリピンで発生した台風の目を航空機から観測（フィリピン）

# SATREPS の公募・選考プロセス



## 【2025年分野別・地域別の採択件数】

	環境エネルギー分野		生物資源分野	防災分野
研究領域	地球規模の環境課題の解決に資する研究	カーボンニュートラルの実現に向けた資源・エネルギーの持続可能な利用に資する研究	生物資源の持続可能な生産と利用に資する研究	持続可能な社会を支える防災・減災に資する研究
応募件数	23	10	32	15
採択件数	3	2	3	2
採択率（％）	13.0	20.0	9.4	13.3
地域	アジア	アフリカ	中南米	その他
採択件数/応募件数	7/49	1/20	1/4	1/7



DREAMRice

# 共同研究プロジェクト体制

日本側グループ代表機関：鹿児島大学



Dr. Daisuke Fujita/  
Saga University



Dr. Jun-Ichi Sakagami/  
Kagoshima University(KU)



Dr. Taiichiro Ookawa/  
Tokyo University of  
Agriculture and  
Technology(TUAT)



Dr. Soh Sugihara/  
TUAT



Dr. Tsugiyuki Masunaga/  
Shimane University(SU)



Dr. Sokichi Shiro/SU



Dr. Hisashi Nasukawa/  
Yamagata University



Dr. Tsuyoshi Sumita/  
Tohoku University



Mr. Junichi Hanai/  
Green Co., Ltd.

ウガンダ側グループ代表機関：NARO



国立農業研究機構



国立資源作物研究所



Dr. Titus Alicai  
Project manager



Rice Breeder:  
Dr. Jimmy Lamo



Agronomist:  
Dr. Simon Alibu



Soil Scientist:  
Dr. Emmanuel Odama



Pathologist:  
Dr. Patrick Odongo



Agronomist:  
Mr. Obura Morish

協力機関：  
IRRI



Dr. Abdelbagi M. Ismail  
Regional Director for Africa





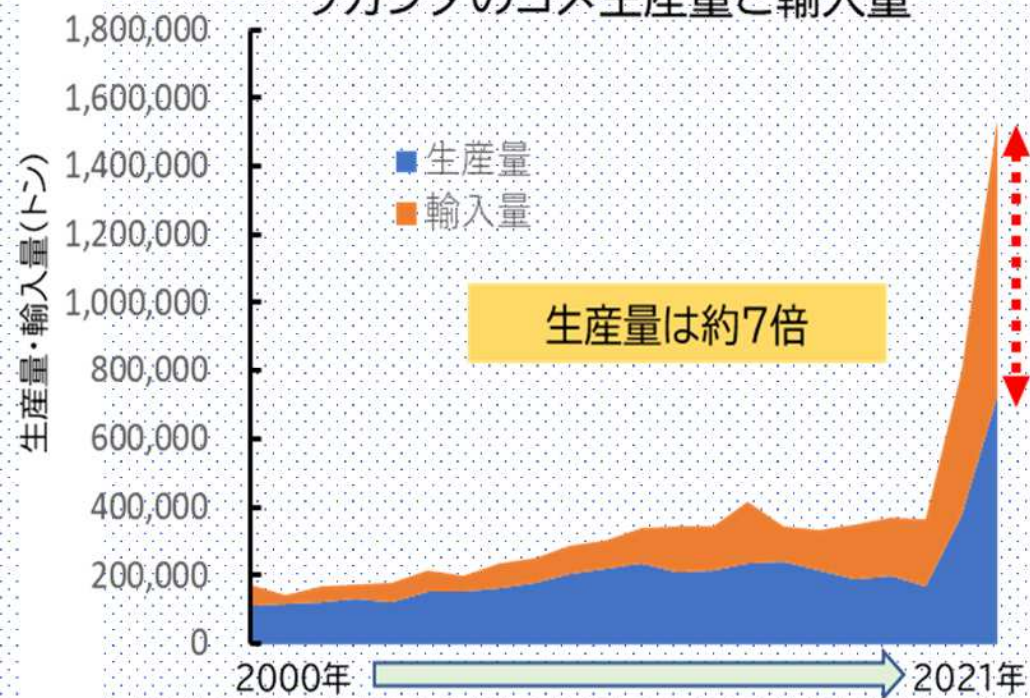
DREAMRice

# 研究の背景I：アフリカのコメ生産と課題

## アフリカにおけるコメ生産量と自給率の推移



## ウガンダのコメ生産量と輸入量



(FAOSTATデータより作図)

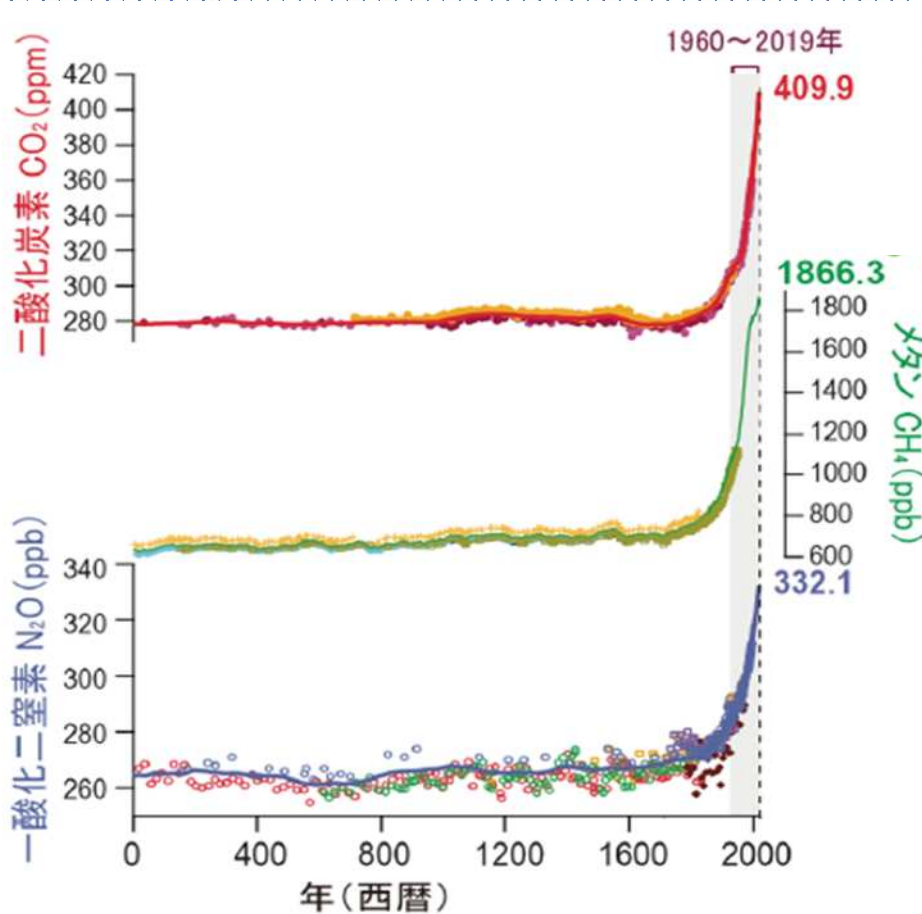
現状の技術では問題を解決できない

高収量による持続的コメ生産体系の技術的革新が必要



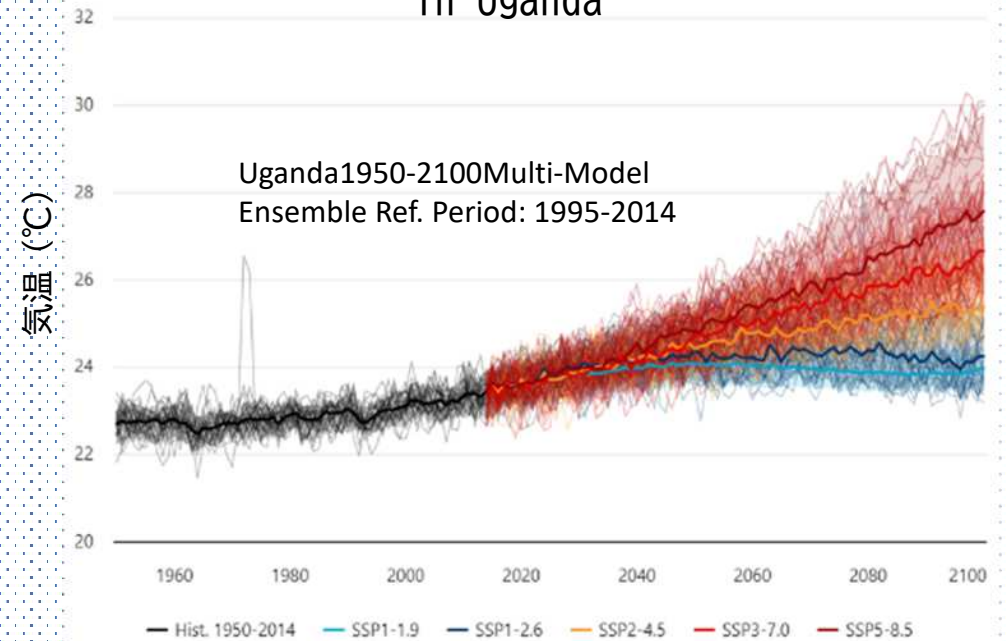
DREAMRice

## 研究の背景II：気候変動の影響



出典: AR6 WG1図 TS.9(b)

### Projected Timeseries Anomaly of Average Mean Surface Air Temperature in Uganda



出展: Climate Change Knowledge Portal For Development Practitioners and Policy Makers

ウガンダも気候変動の影響を受けており、温暖化の軽減と適応が必要。

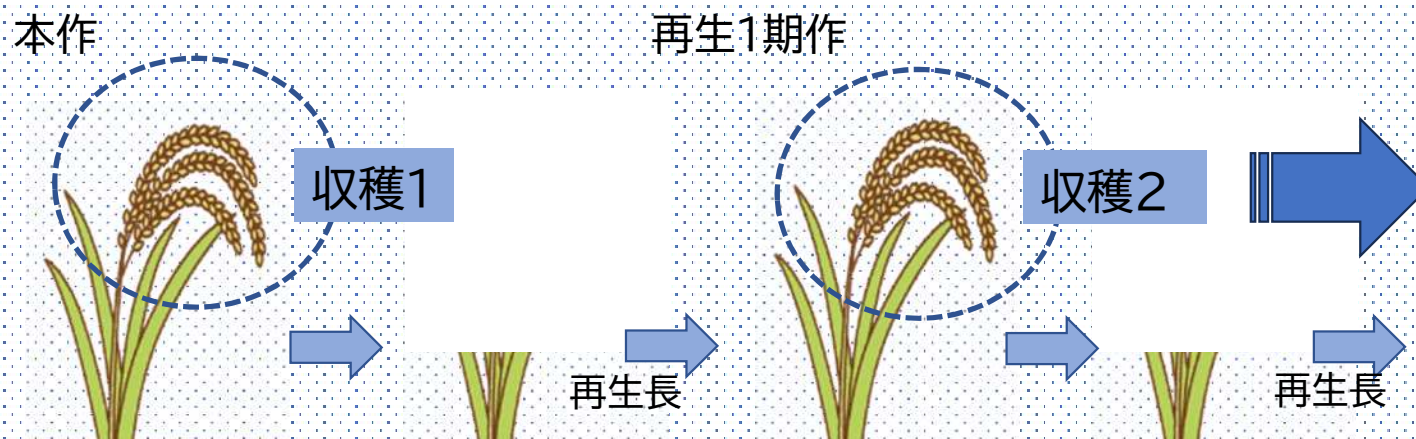




DREAMRice

# 研究のコンセプト（G×E×M）とアウトプット

## ①作物の潜在的ポテンシャルを活用した生産管理技術



## ②気候変動による環境負荷を軽減する土壌/水管理技術

不耕起栽培による炭素貯留の増大、二酸化炭素排出の軽減  
好気的水管理による酸化の促進、嫌気性メタンの生成と放出を阻害

## アウトプット

新品種育成  
3系統作出

収量  
1.2~1.6倍

生産コスト  
50%

土壌炭素濃度  
0.4%分/年増加

メタン放出  
30%抑制



DREAMRice プロジェクトPDM

# 研究プロジェクト概要（2026年～2031年）研究費（5.65億円/5年間）

## 上位目標

研究開発した再生イネ栽培技術体系が対象地域において推奨される

## プロジェクト目標

水田の高収量栽培管理技術（成果1・2）および温室効果ガス削減効果の実証（成果3）により、持続的なイネ栽培システムを提示（成果4）する

### 普及実証（成果4）：

再生水稻栽培技術の**経済性が評価**され、**技術・普及マニュアルが策定**される。



**育種（成果1）：**  
高再生力・高収量の能力を示す**再生水稻品種**が育成される。



**栽培技術（成果2）：**  
**再生水稻栽培管理技術**が向上し、効率化される。



**気候変動緩和（成果3）：**  
不耕起好氣的栽培における**土壌炭素貯留**と**メタンガス排出削減**への効果が明らかになる。



- 現地における研究費
- 研究機器・機材費
- 留学生滞在等経費
- 専門家・業務調整員の派遣費  
3億9千万円/5年間



- 国内における研究費
- 国内における出張費
- ポストドク等雇用費  
1億7.5千万円/5年間





# 社会実装に向けて

- ①環境負荷を軽減した持続的高収量生産体系の確立
- ②温室効果ガス軽減による生物多様性の維持
- ③生産者の収入向上と農業継続性への貢献
- ④世界へスケールアップして平和構築へ貢献
- ⑤アフリカにおける緑の革命

ご清聴ありがとうございました。

令和8年2月6日

## 鹿児島大学定例記者発表資料

鹿児島大学の特色ある研究・取組  
理工学研究科教授 武井 孝行

●傷がよく治る！革新的キトサンヒドロゲル

E-mail: [takei@cen.kagoshima-u.ac.jp](mailto:takei@cen.kagoshima-u.ac.jp)

TEL/FAX: 099-285-3283

研究室 HP: <https://takei-lab.com/>

2026/2/6 定例記者発表

# 傷がよく治る！ 革新的キトサンヒドロゲル

理工学研究科 武井 孝行



研究室HP

ミッション

# 在宅での褥瘡(床ずれ)ケアの負担を軽減する





## 褥瘡ケアの現状



3万人

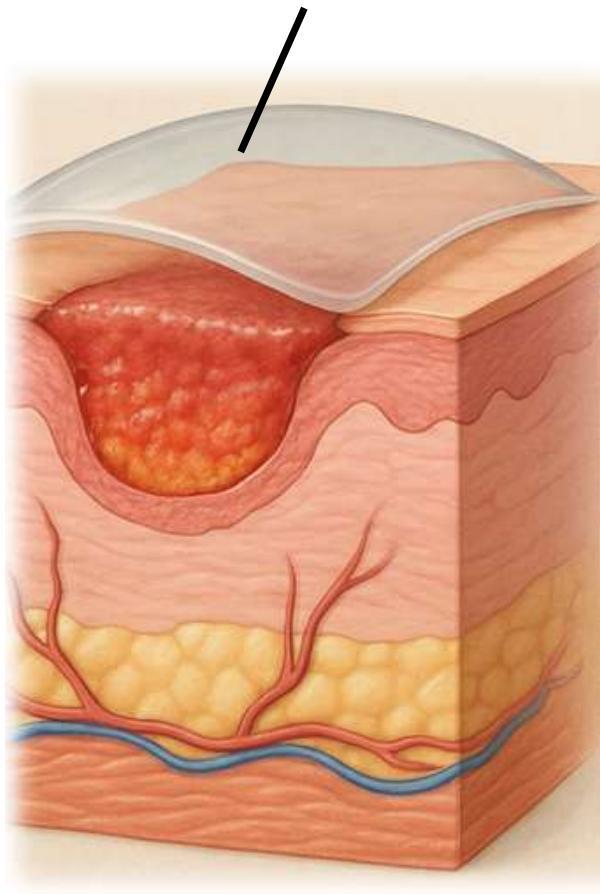


7万人以上

ご家族が主となって患者をケア

ご家族の身体的・精神的負担の低減が必要

### 創傷被覆材



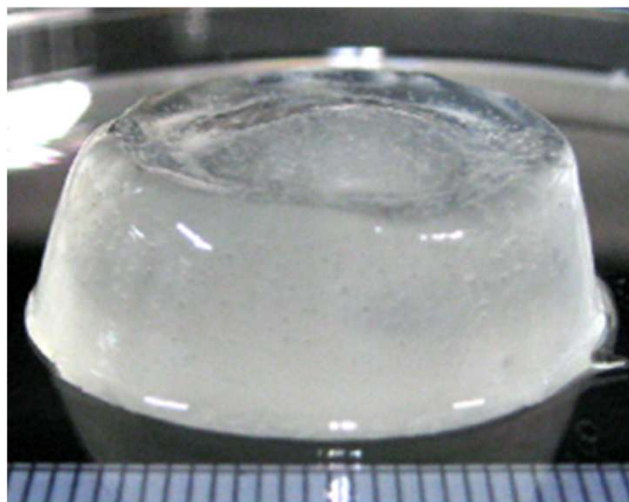
### 理想的な被覆材

- ・ 傷の治癒促進作用
- ・ 止血作用
- ・ 抗菌作用



キトサンからなるヒドロゲル

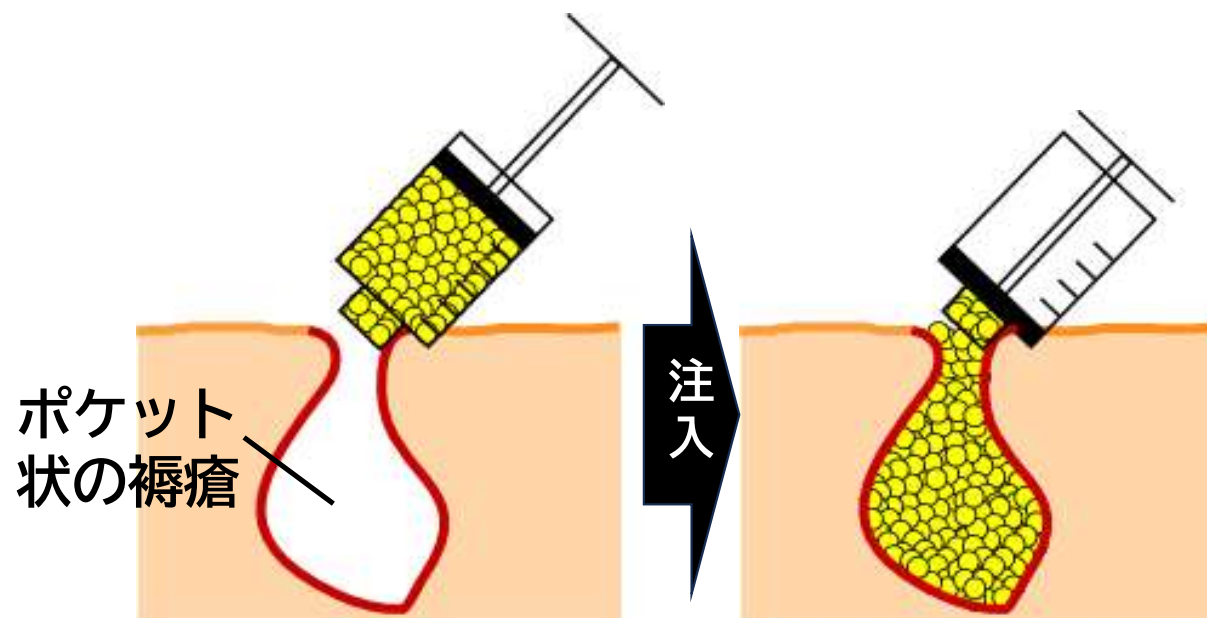
## 開発履歴



微粒子状に加工



## 安全性の高いキトサンゲルを開発

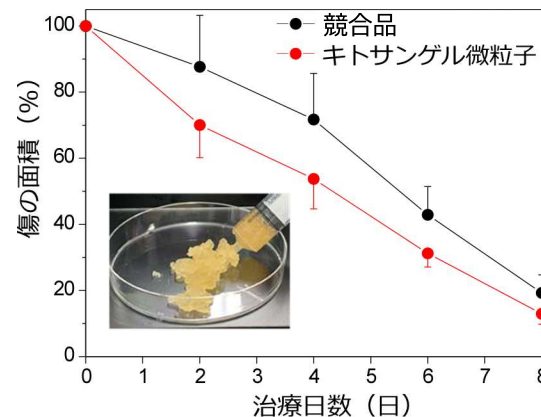
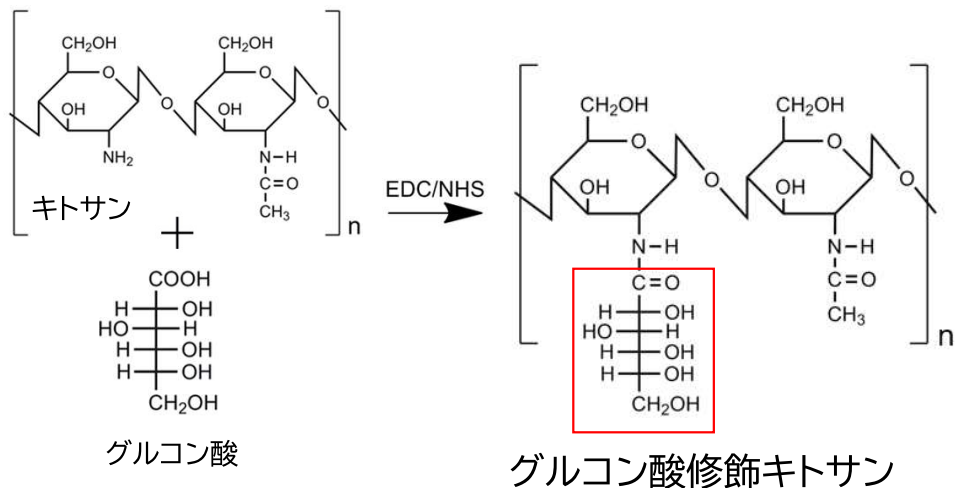


AMED橋渡し研究 preF 採択研究として研究遂行中

研究分担者

鹿児島大学医学部	山下 勝 教授
大森白赤病院	松根 彰志 医師
日本医科大学医学部	細矢 慶 医師

# 治療効果



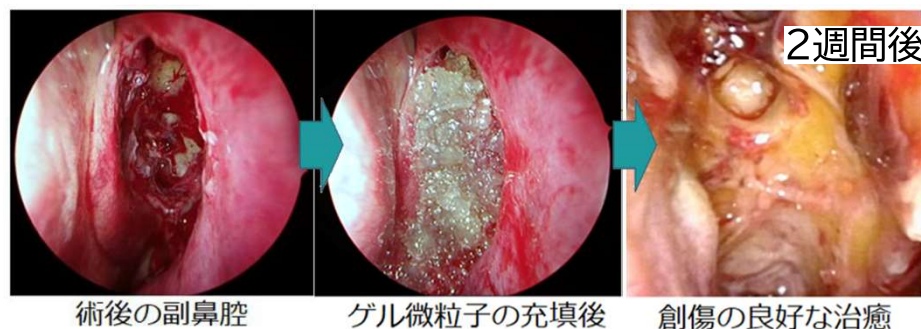
## 特許

- 特許5907489号(2012年出願)  
キトサン誘導体から得られるヒドロゲル
- PCT/JP2023/006946(2022年出願)  
医療用ヒドロゲルの調製方法
- PCT/JP2024/028184(2023年出願)  
体腔損傷治療用ヒドロゲル

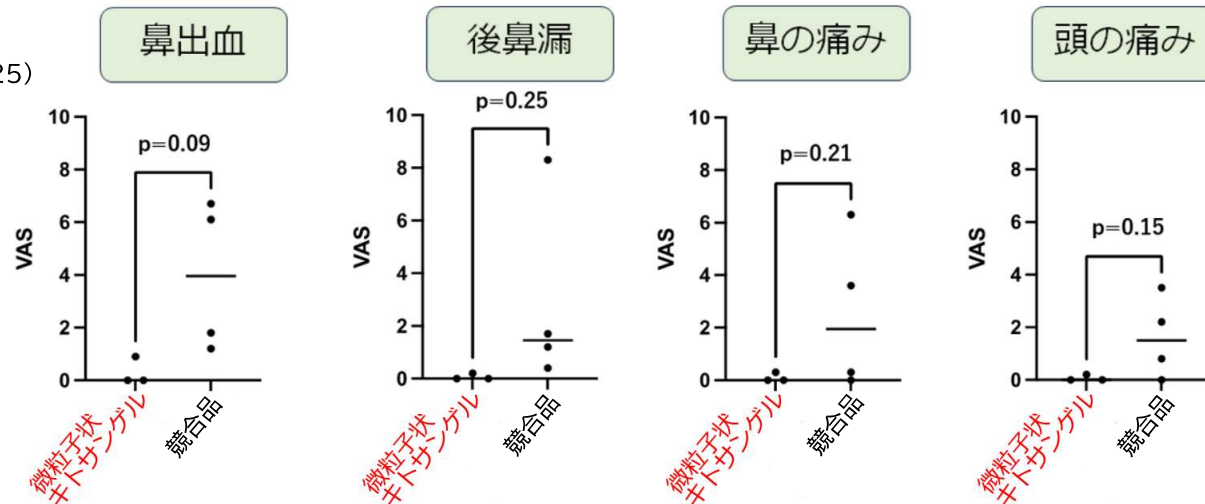
動物実験での競合品との比較

## 臨床研究


※日本医科大学多摩永山病院にて  
Yamashita, Y., Takei, T. *et al.*, *Gels*, 11, 60 (2025)



有効性を実証



# 競合品との比較

		開発品			
1. 素材		キトサン			
2. 材型		ヒドロゲル微粒子			
3. クラス分類		クラスIII			
4. 製造元					
5. 販売価格					
6. 製品写真					
7. 機能	使いやすさ	◎	×	×	◎
	治癒促進作用	◎	◎	◎	△
	止血作用	◎	◎	◎	×
	抗菌作用	◎	○	◎	△

# 市場

## 国内市场

## 世界市場

耳鼻領域

褥瘡

その他

>10億円/年

>250億円/年

----億円/年

3兆円

合計 数千億円/年



達成したい未来社会

# 在宅での褥瘡ケアの負担を軽減する



令和8年2月6日

## 鹿児島大学定例記者発表資料

鹿児島大学の特色ある研究・取組

水産学部准教授 江幡 恵吾

●スマート計量で実現する水産物流通デジタル  
情報プラットフォーム

E-mail: ebata@fish.kagoshima-u.ac.jp  
TEL/FAX: 099-285-4231

# スマート計量で実現する 水産物流通デジタル情報 プラットフォーム

鹿児島大学水産学部 准教授

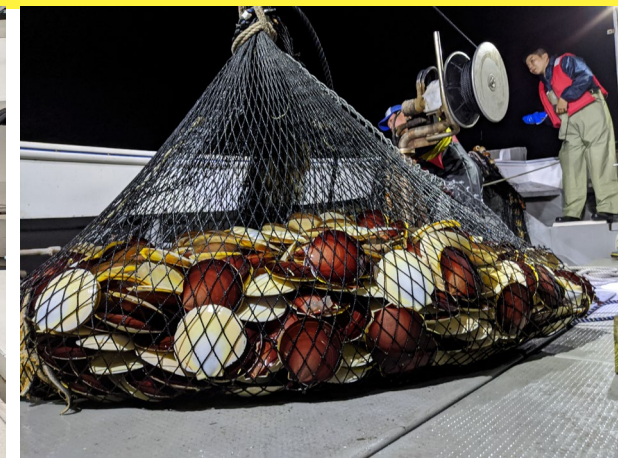
江幡 恵吾





# 自己紹介（江幡恵吾）

- 1973年 富山県生まれ
- 1998年 北海道大学大学院 修了
- 1998年 水産物流通(札幌)
- 1999年 鹿児島大学水産学部 着任  
専門分野:漁業生産学
- 2025年 株式会社ZIFISH 創業  
(鹿児島大学発ベンチャー)







# 研究紹介（査読付き学術論文）

Fisheries Science  
https://doi.org/10.1007/s12559-025-1007-5

ORIGINAL ARTICLE

Fisheries

Effectiveness of bottom guarding nets in reducing bycatch in prawn (*Penaeus* spp.) trammel net fishery along the coast of Ban Nam Khem, Phang-Nga, Thailand

Phatcharapol Boonserm<sup>1,2</sup> · Keigo Ebata<sup>3</sup> · Napakhwan Whanpetch<sup>2</sup> · Tanuspong Pokavanich<sup>2</sup> · Thanakorn Sangeamwong<sup>3</sup> · Wachirah Jaingam<sup>2</sup>

Received: 29 July 2025 / Accepted: 24 November 2025  
© The Author(s), under exclusive licence to Japanese Society of Fisheries Science 2026

Check for updates

Fisheries Science  
https://doi.org/10.1007/s12559-025-1007-5

ORIGINAL ARTICLE

Fisheries

Logbook-based assessment of blue swimming crab (*Portunus pelagicus*) gillnet fishery: a case study of small-scale fishing communities in Laem Phak Bia, Phetchaburi, Thailand

Thanakorn Sangeamwong<sup>1</sup> · Keigo Ebata<sup>1</sup> · Anukorn Boutson<sup>2</sup> · Dudsadee Leenawarat<sup>3</sup> · Kazuhiko Anraku<sup>1</sup> · Miguel Vazquez Archdale<sup>1</sup>

Received: 24 November 2024 / Accepted: 2 June 2025  
© The Author(s), under exclusive licence to Japanese Society of Fisheries Science 2025

Check for updates

Abstract

Small-scale fishery in Laem Phak Bia, Phetchaburi, Thailand, has a high bycatch. In this study, we investigated seasonal variations in the influence of environmental factors on catch per unit effort (CPUE) in a gillnet fishery for blue swimming crabs located in Laem Phak Bia, Phetchaburi Province, using detailed logbook data collected from 915 fishing trips between 2018 and 2019. Fishing trips and catch amounts were found to peak during the southwest monsoon season (June–September), with the highest monthly catch recorded in August 2019 at 1148.9 kg and the maximum CPUE reaching 0.63 ± 0.32 kg/panel. In contrast, catch rates declined during the northeast monsoon (October–February). A generalized linear model (GLM) analysis was applied to the data to assess the relationship between CPUE and environmental variables. Stepwise model selection based on Akaike Information Criterion (AIC) values identified monsoon season and mean wind speed as the most influential predictors of CPUE (final model AIC: − 851.96). The model showed significantly higher CPUE during the pre-monsoon and the southwest monsoon seasons compared to the northeast monsoon season. Wind speed had a weak positive relationship with CPUE, but the effect was not statistically significant. These results highlight the influence of monsoon patterns and wind conditions on the small-scale blue swimming crab gillnet fishery in Laem Phak Bia. They also highlight the value of fisher-maintained logbooks as a tool for monitoring and understanding SSFs in coastal Thailand.

Fisheries Science  
https://doi.org/10.1007/s12559-025-1007-5

ORIGINAL ARTICLE

Fisheries

Fishing practices and biological characteristics of blue swimming crab (*Portunus pelagicus*): a case study based on onboard observations and landed catch data in the Ao Por small-scale gillnet fishery, Phuket, Thailand

Thanakorn Sangeamwong<sup>1</sup> · Keigo Ebata<sup>1</sup> · Dudsadee Leenawarat<sup>2</sup> · Phatcharapol Boonserm<sup>3</sup> · Allena Esther D. Arteta<sup>4</sup> · Aldrin Mel B. Macale<sup>5</sup> · Nat Sermkijiseree<sup>6</sup> · Kazuhiko Anraku<sup>1</sup> · Miguel Vazquez Archdale<sup>1</sup>

Received: 22 July 2025 / Accepted: 8 October 2025

Check for updates

Fisheries Science  
https://doi.org/10.1007/s12559-025-1007-5

ORIGINAL ARTICLE

Fisheries

Drifting stone used in floating body structure of the setting depth and attachment characteristics of seaweed

江幡 恵吾<sup>1</sup> · 脇本 大輝<sup>2</sup> · 松岡 翠<sup>2</sup> · 大海 聡一<sup>2</sup> · 袖山 研一<sup>3</sup> · 馬庭 秀士<sup>4</sup> · 西 真<sup>4</sup> · 瀬戸口 眞治<sup>5</sup>

Received: 22 July 2025 / Accepted: 8 October 2025

Check for updates

Fisheries Science  
https://doi.org/10.1007/s12559-025-1007-5

ORIGINAL ARTICLE

Fisheries

Drifting stone used in floating body structure of the setting depth and attachment characteristics of seaweed

江幡 恵吾<sup>1</sup> · 脇本 大輝<sup>2</sup> · 松岡 翠<sup>2</sup> · 大海 聡一<sup>2</sup> · 袖山 研一<sup>3</sup> · 馬庭 秀士<sup>4</sup> · 西 真<sup>4</sup> · 瀬戸口 眞治<sup>5</sup>

Received: 22 July 2025 / Accepted: 8 October 2025

Check for updates

Fisheries Science  
https://doi.org/10.1007/s12559-025-1007-5

ORIGINAL ARTICLE

Fisheries

Drifting stone used in floating body structure of the attachment characteristics of seaweed

江幡 恵吾<sup>1</sup> · 梶 海聖<sup>2</sup> · 松岡 翠<sup>2</sup> · 袖山 研一<sup>3</sup> · 馬庭 秀士<sup>4</sup> · 瀬戸口 眞治<sup>5</sup>

Received: 22 July 2025 / Accepted: 8 October 2025

Check for updates

Fisheries Science  
https://doi.org/10.1007/s12559-025-1007-5

ORIGINAL ARTICLE

Fisheries

Effect of Diversity of Fish Landings on Sorting Time in Stick-held Dip Net Fishery

Yuya YOSHIDA<sup>1</sup>, Keigo EBATA<sup>2,\*</sup> and Toshiaki SHINMACHI<sup>3</sup>

Received: 22 July 2025 / Accepted: 8 October 2025

Check for updates



# ❖ 日本の水産物(約500種類)





# 世界の和食ブーム



Norway



Spain



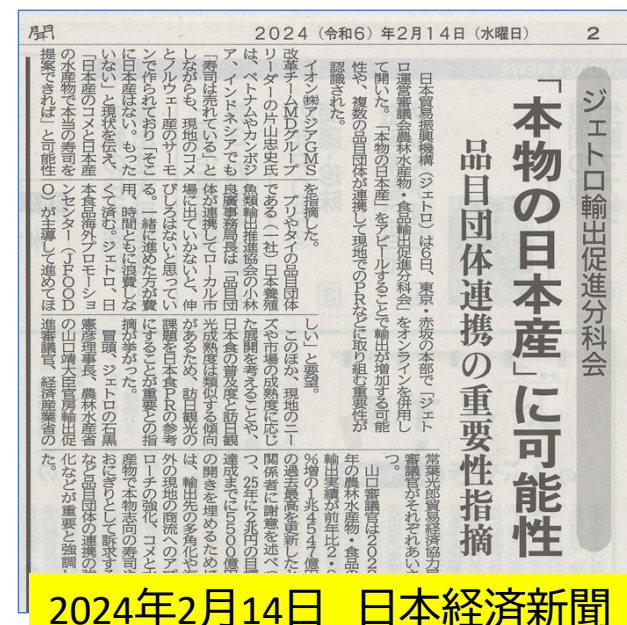
Belgium



Vietnam



Thailand



タイ国:本物志向  
産地証明  
トレーサビリティ

2024年2月14日 日本経済新聞





# 目指したい姿

おいしい魚で「笑顔あふれる幸せな国」





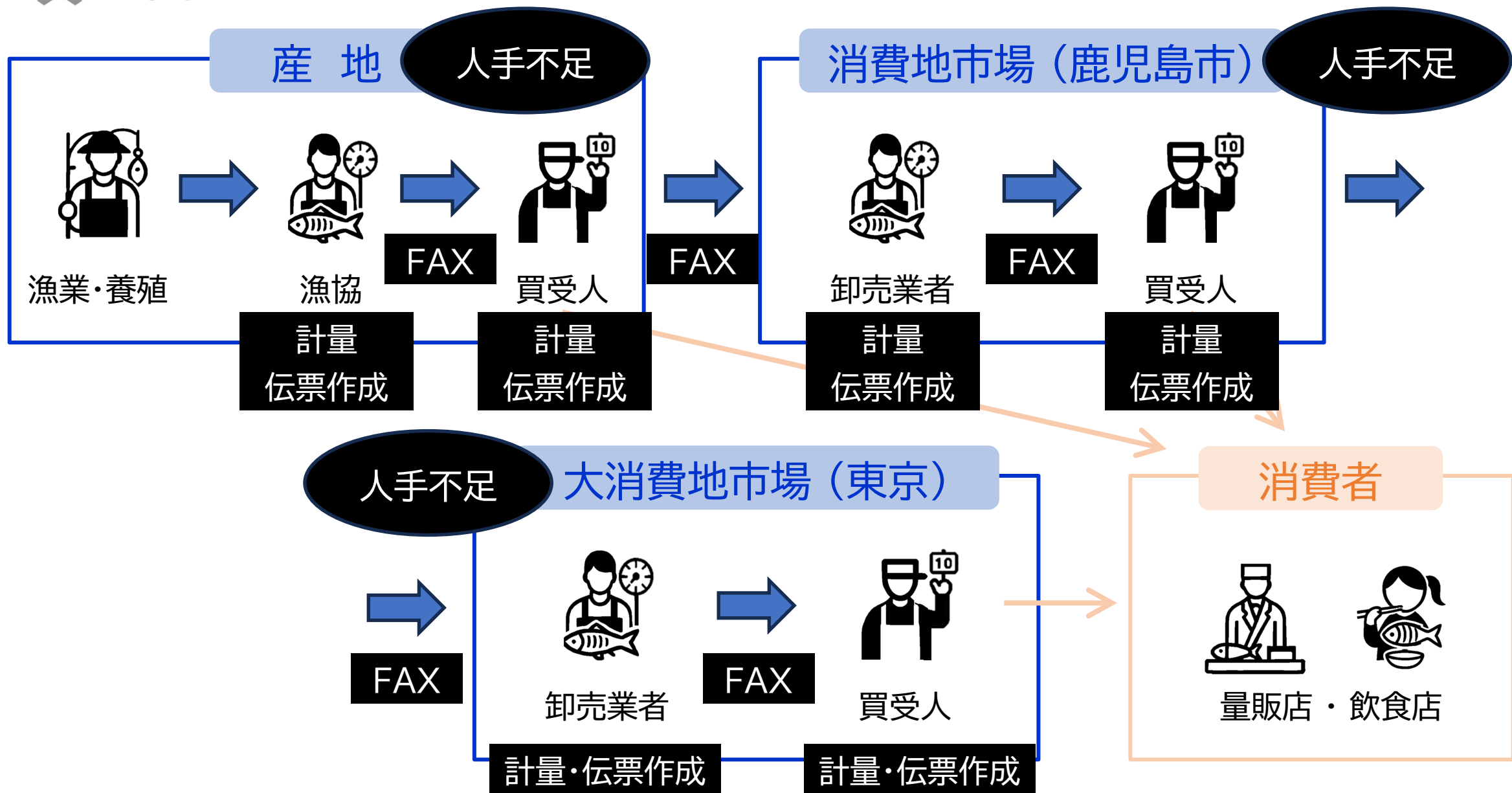
# 水産業の課題

① 労働力不足

② 産地価格の低迷

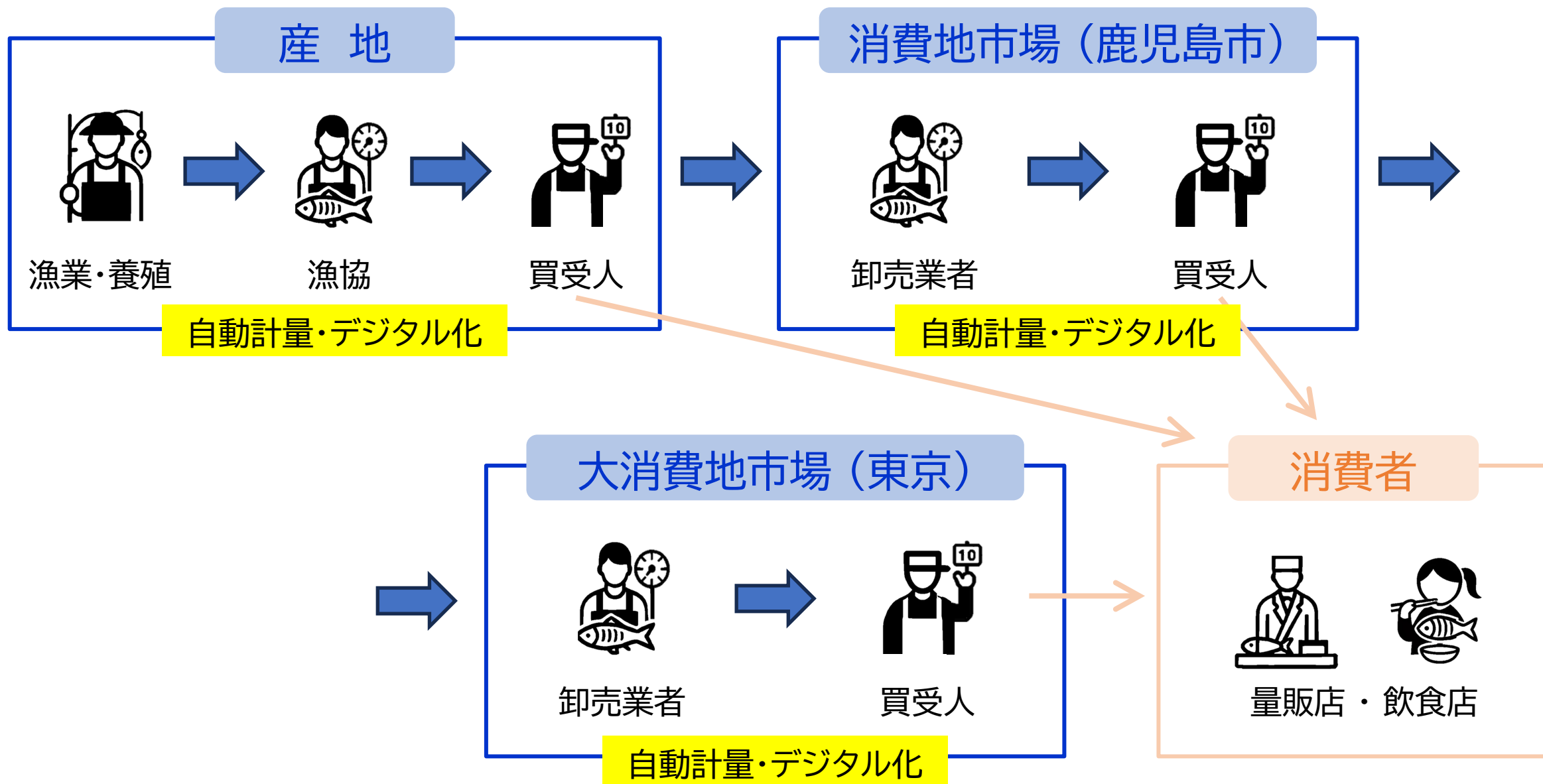
③ 資源管理

# 課題





# 解決策 水産物流通OS(情報基盤インフラ)







# 漁協の業務

12時間労働(土曜・祝日出勤) / 休みは日曜だけ / 長期休暇なし



5時



出勤

9時 10時



競り

魚の計量  
伝票作成

13時



データ入力

一般業務

17時









退勤













# スマート計量システム（鹿児島県・高山漁協で実用化）



ZIFISH							
<div> <div>今日</div> <div>← 2/2(月) →</div> <div>表示更新 次:273番</div> </div>							
No.	生産者 すべて ▼	漁法	画像	魚種 すべて ▼	尾数	1尾重量g	重量kg
<input type="checkbox"/> 85	東風泊漁場	大型定置網漁業		さごし コピー	11	827	9.1
<input type="checkbox"/> 86	東風泊漁場	大型定置網漁業		さごし コピー	10	780	7.8
<input type="checkbox"/> 87	東風泊漁場	大型定置網漁業		さごし コピー	4	1,000	4.0
<input type="checkbox"/> 88	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい コピー	1	3,800	3.8
<input type="checkbox"/> 89	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい コピー	1	3,000	3.0
<input type="checkbox"/> 90	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい コピー	1	2,400	2.4
<input type="checkbox"/> 91	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい コピー	1	1,800	1.8
<input type="checkbox"/> 92	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい コピー	1	1,100	1.1

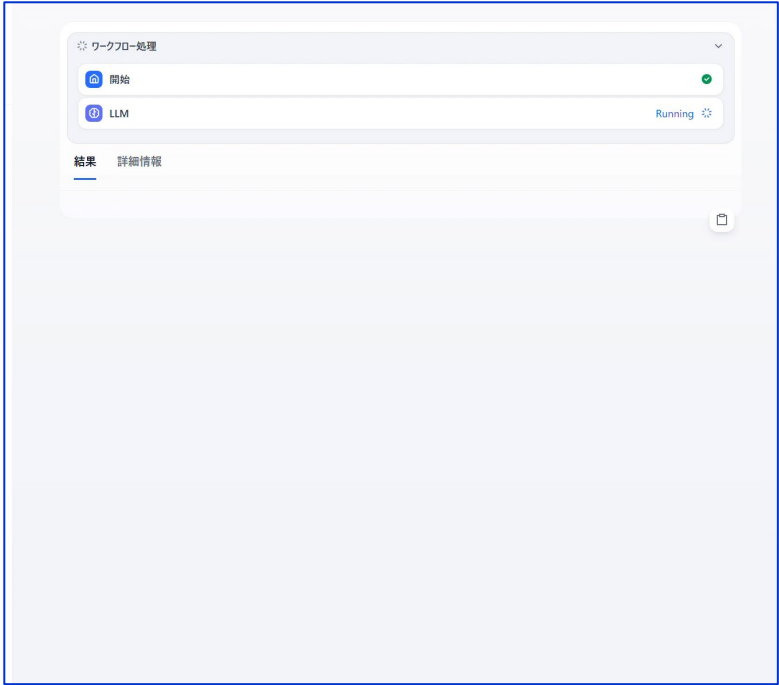
# スマート計量システム（鹿児島県・高山漁協で実用化）

ZIFISH						今日 2/2(月)		
<input type="checkbox"/> No.	生産者 すべて	漁法	画像	魚種 すべて				
<input type="checkbox"/> 85	東風泊漁場	大型定置網漁業		さごし コピー				
<input type="checkbox"/> 86	東風泊漁場	大型定置網漁業		さごし コピー				
<input type="checkbox"/> 87	東風泊漁場	大型定置網漁業		さごし コピー				
<input type="checkbox"/> 88	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい コピー				
<input type="checkbox"/> 89	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい コピー	1	3,000	3.0	
<input type="checkbox"/> 90	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい コピー	1	2,400	2.4	
<input type="checkbox"/> 91	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい コピー	1	1,800	1.8	
<input type="checkbox"/> 92	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい コピー	1	1,100	1.1	





# スマート計量システム（鹿児島県・高山漁協で実用化）



販売管理サブシステム-水揚入力

### 水揚入力

処理日 2025/10/25 水揚げ日 2025/10/25 伝票番号 77377  
販売形態 1 外部出荷先 生産者 501 漁業種類 71 控除入力

自港 東風泊漁場(おしどり丸) 大型定置網漁業

行番	号数	魚種	鲜活	規格	形態	箱数	箱種	尾数	数量	単位	単価	金額	仲買人	備考
99	103	6	1		0	0	1.0	3	0.0	15.6	1	21	328	50
	さば		鮮魚				桶			数量計算			鶴マルナ	
100	104	6	1		0	0	1.0	3	0.0	15.0	1	21	315	50
	さば		鮮魚				桶			数量計算			鶴マルナ	
101	105	136	1		0	0	1.0	3	0.0	3.4	1	145	493	1
	このしろ		鮮魚				桶			数量計算			(有)江川商店(江川伸一)	
102	106	146	1		0	0	1.0	3	3.0	0.2	1	2,882	576	3
	くるまえび		鮮魚				桶			数量計算			(有)丸後水産	
103	107	146	1		0	0	0.0	3	3.0	0.2	1	3,880	776	21
	くるまえび		鮮魚				桶			数量計算			坪山栄作	
104	108	146	1		0	0	1.0	3	0.0	1.1	1	3,712	4,083	21
	くるまえび		鮮魚				桶			数量計算			坪山栄作	
105	109	146	1		0	0	1.0	3	0.0	5.6	1	2,882	16,139	3
	くるまえび		鮮魚				桶			数量計算			(有)丸後水産	
106	110	146	1		0	0	1.0	3	0.0	0.2	1	2,560	512	2
	くるまえび		鮮魚				桶			数量計算			坪山 勇作	
107	111	1			0	0	0.0	0	0.0	0.0	1	0	0	
			鮮魚							数量計算				

合計	尾数計	箱数計	数量計	金額計	消費税	税込金額	外部控除	差引金額
	492.0	97.0	1,174.00	459,056	36,724	495,780	0	495,780

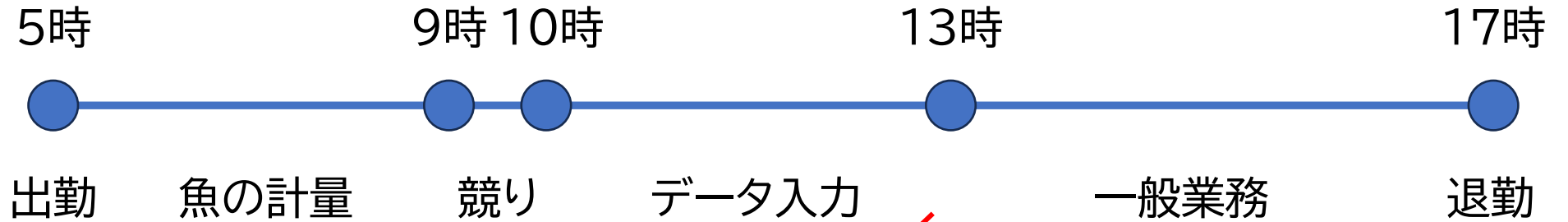
行削除 伝票削除 画面クリア チェックリスト 伝票登録 終了

入札結果の音声をデジタルデータに変換

既存の会計システムに自動入力



# 漁協の業務改善



省力化効果  
3,180 時間・人/年  
4.7 百万円/年



高山漁協の声

11月3日(祝)  
3人→2人

職員1人  
休みを取ることが  
できた！





# 漁協の業務改善



2024年 鹿児島市 markMEIZAN Spread pt.3 優秀賞

2025年 鹿児島ICTel大賞 DX部門優秀賞

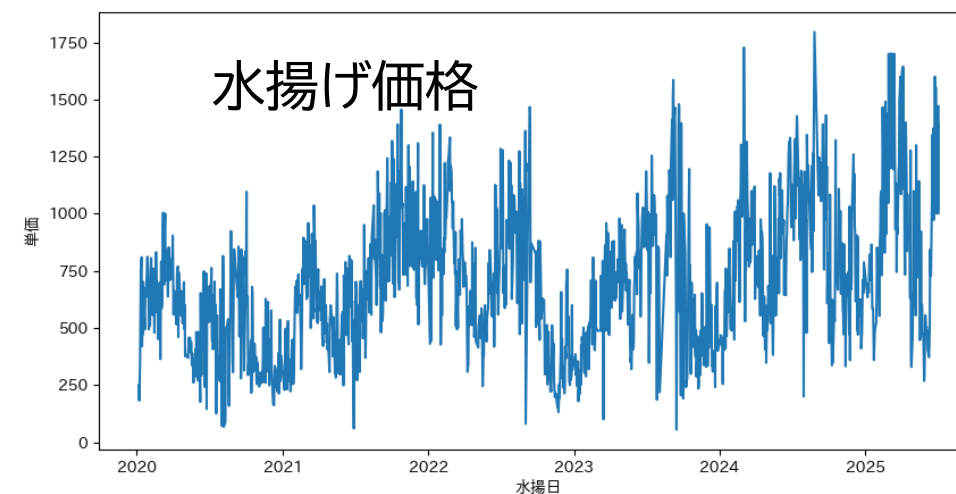
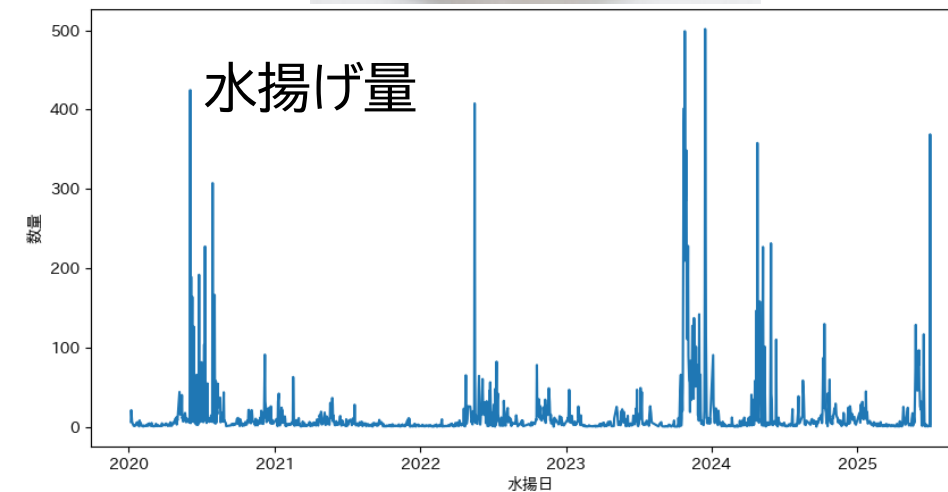
鹿児島県ビジネスプランコンテスト なんぎんキャピタル賞

うるるビジネスコンテスト 「優秀賞」、「オーディエンス賞」

九州大学発ベンチャービジネスプランコンテスト 「九州経済産業局長賞」、「台日商務交流協進会 理事長賞」



# 水産物情報プラットフォーム





# 産地の生産性向上



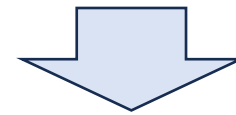
漁業者

- ・ 競り結果を早く知りたい
- ・ 過去の漁獲記録を見たい



仲買人

- ・ 複数の魚市場から魚を仕入
- ・ 顧客と早く交渉したい



水揚げから競りまで約2時間

量販店

東京・豊洲市場

大阪市場



# 気候変動に対応したリアルタイム資源管理

水揚げ量報告 (kg)

漁 協



都道府県

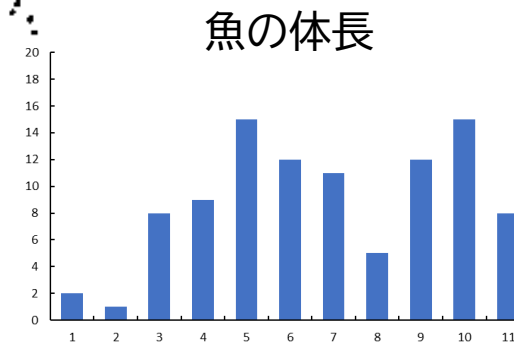
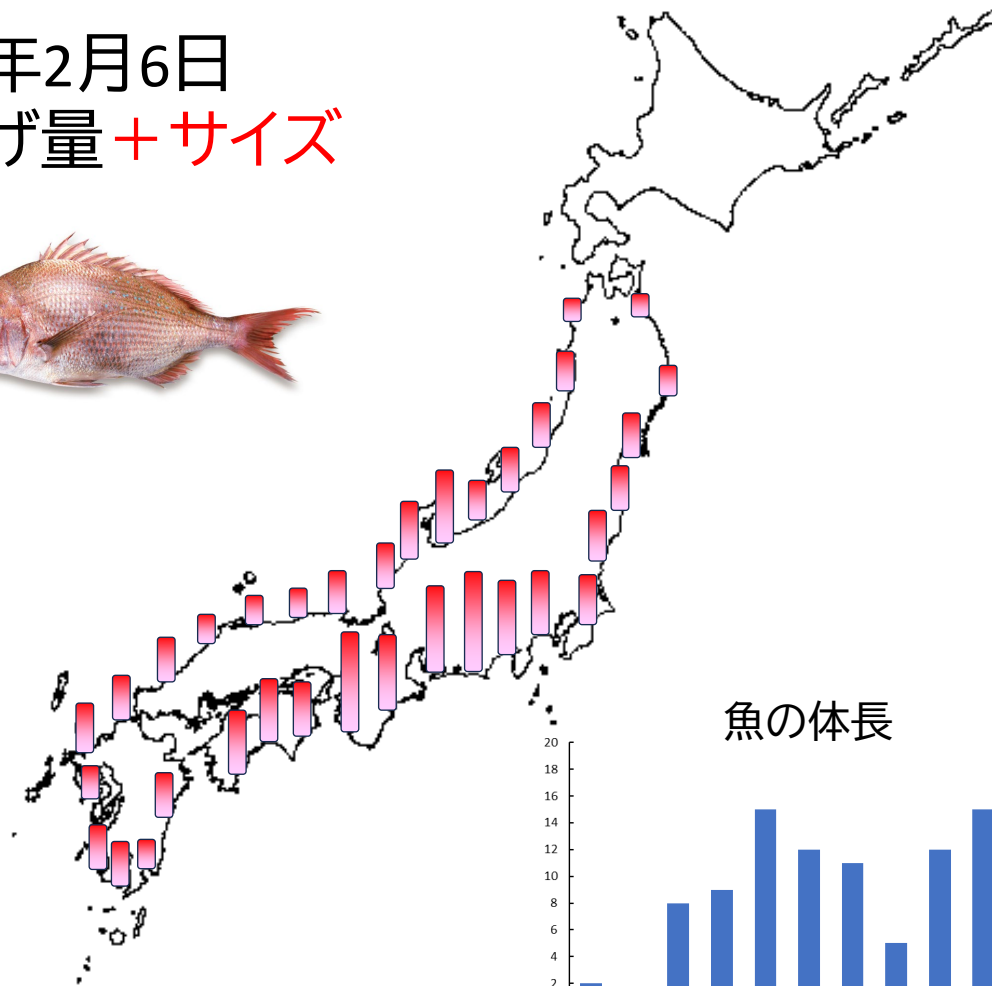
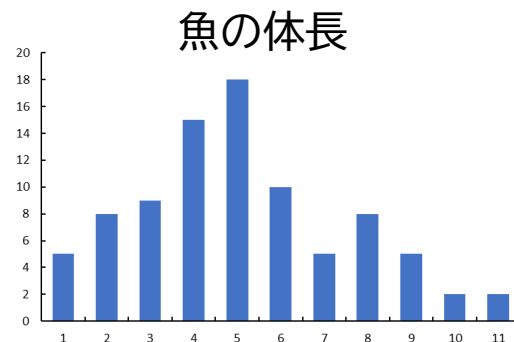


水産庁



大学・研究機関

2026年2月6日  
水揚げ量 + サイズ

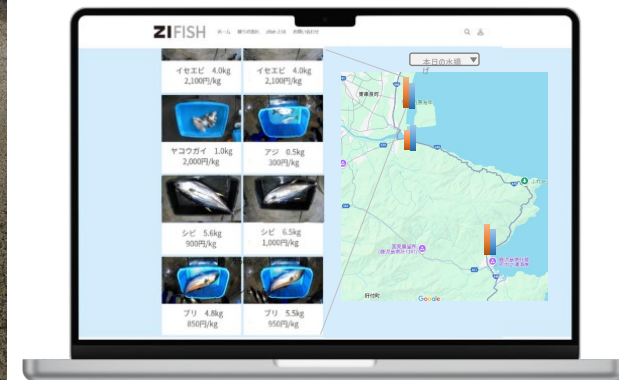
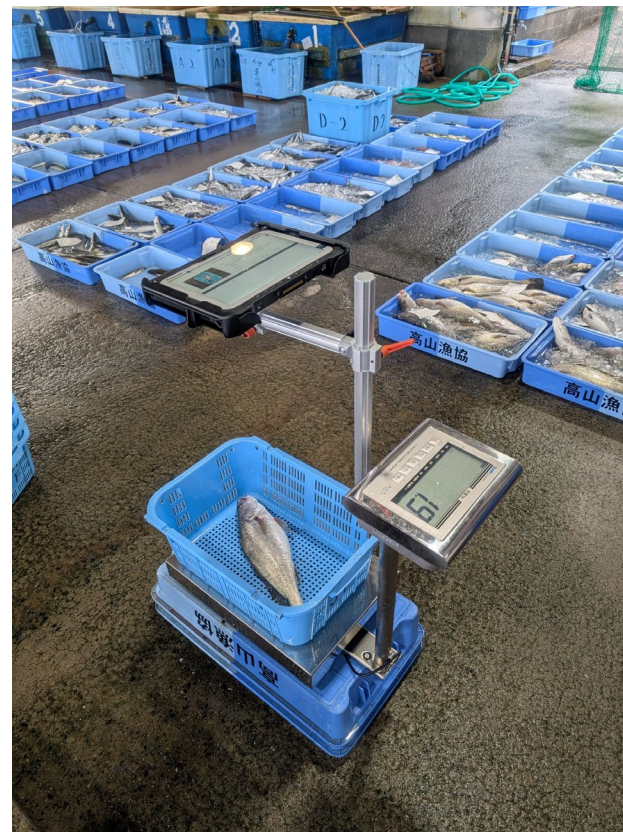




# 新規性・優位性



手入力あり  
情報共有できない



手入力なし、既存会計システムにデータ転送  
情報共有できる  
(漁業者、漁協、仲買人、飲食店、消費者)





# グローバル展開

## 国境を越えた水産資源管理プロジェクト

(2025年 NIKKEIブルーオーシャン大賞 生物多様性部門 受賞)



ASEAN諸国と連携  
バンコク国際会議 2025年11月21日



タイ政府  
水産局



東南アジア  
漁業開発センター



カセサート大学  
水産学部

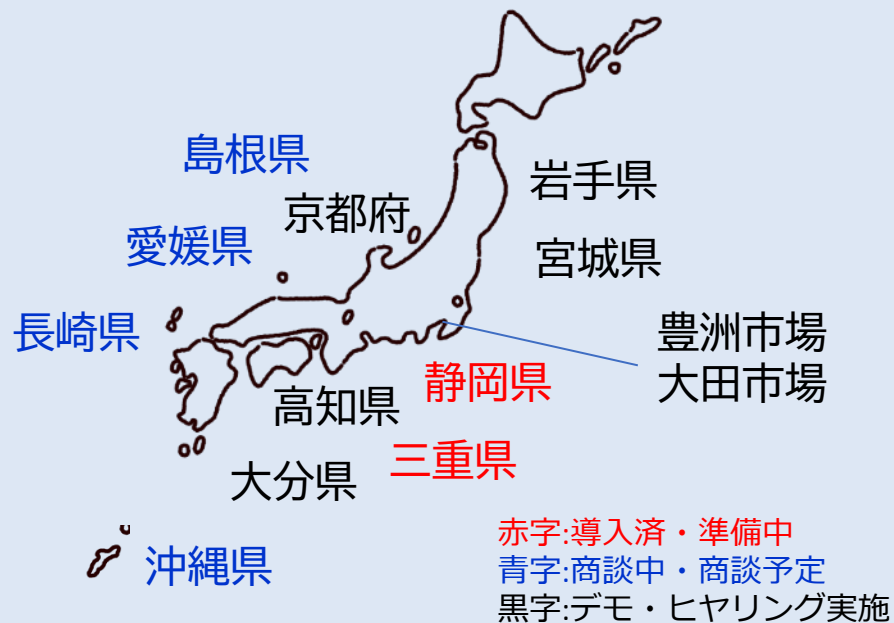


プーケット漁港 実証試験  
2025年11月27日

# 導入実績・今後の予定



高山漁協  
東串良漁協  
奄美漁協  
瀬戸内漁協  
江口漁協  
種子島漁協  
与論町漁協  
とくのしま漁協  
内之浦漁協



鹿児島県 高山漁協(2025年11月～導入済み)



三重県 外湾漁協(2026年1月～試験導入)



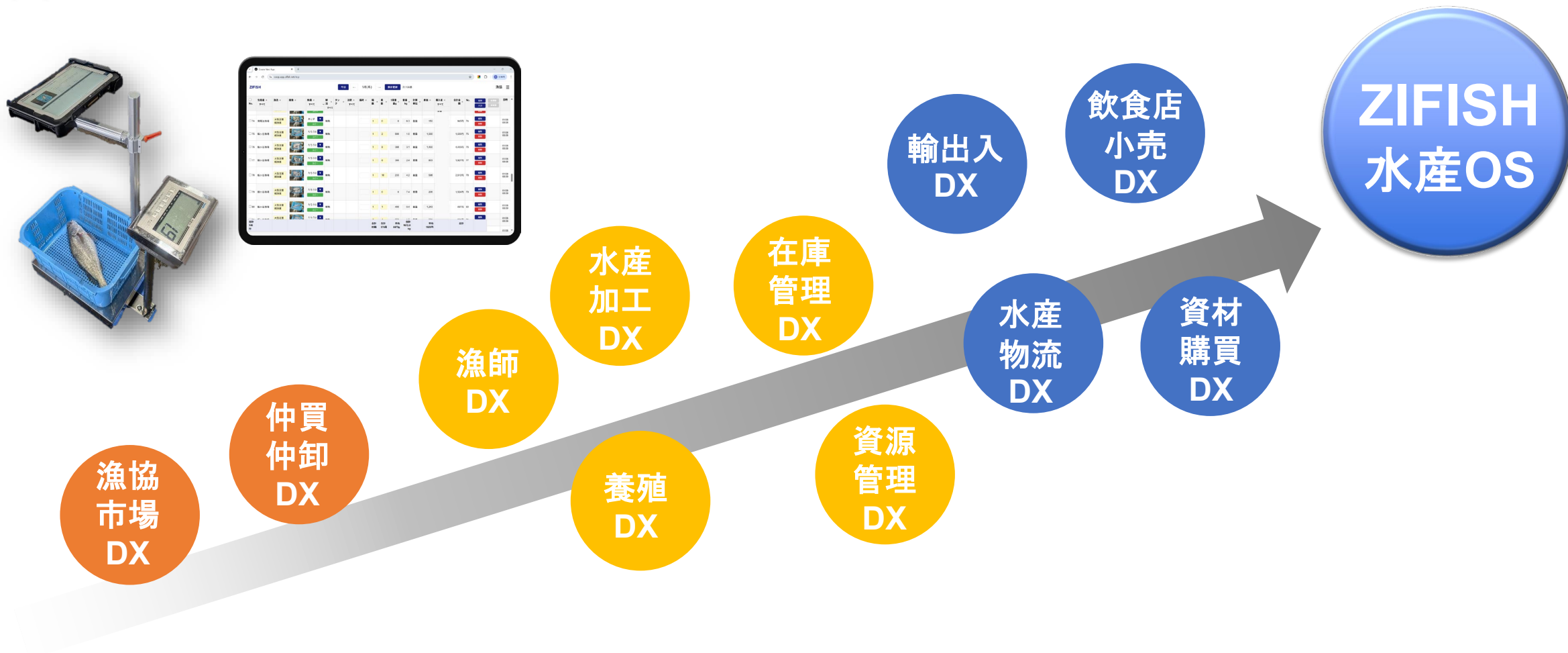
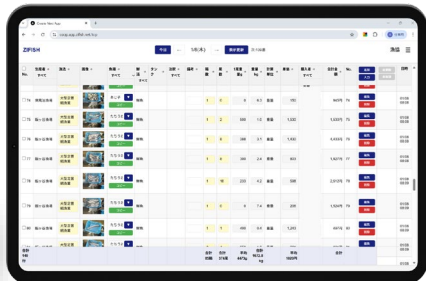
静岡県 南駿河湾漁協(2026年3月～試験導入)







# 事業展開



受賞予定 2026年3月8日

NIKKEI THE PITCH GROWTH 2025-2026 アワード  
優秀賞、レオス賞、ストライク賞、オーディエンス賞





# 2026年 初競り (1月6日 みなと新聞)

(7) 2026年(令和8年)1月6日 火曜日 みなと新聞 (日刊)

## 大阪、名古屋でマグロ最高値更新

宮城・石巻市場の初セリは、足前・時半ごろ始まり、場内

タラ中心に3.5ト上場

石巻市場

仙台市場

再整備へ業界一丸で

仙台市場は5日早朝から郡和子仙台市長や市場関係者らが参加して業務開始式を行った。郡氏は「昨年11月には当市場の再整備計画を公表した。東北の拠点市場として生鮮食品の安定供給はもちろん、市民に愛され、関係者が働きやすい魅力ある市場となるよう関係者と連携して再整備を進めていきたい」とあいさつ。

本田誠仙台水産社長は「市場再整備に向けて、業界を問わずさまざまな知見を学んで検討を進めている。利用しやすい、将来を託す社員にとっても働きやすい市場の完成を目指している。市場の情報力と流通力で食文化普及と地域社会へ貢献できる市場づくりを目指していきたい」と述べた。

仙台市場の初セリは5日に終わった。入荷量は前年の初セリ比31%減の166ト(速報値)だった。

主な魚種では、福岡産主体のサワラは3・2トで高値キロ3200円。ヒラスは3・5トで1200円だった。サバは880箱(1箱4キ)で箱4860円。アジは100箱(同2キ)で5400円を付けた。年末は

クエ(アラ)、天然ブリとともに九州産の入荷が低調だった。

午前2時50分からの初市式で入江康浩福岡中央魚市場社長は「市民に開かれた市場づくりと水産物の安定集荷・適正取引に努めていく」と述べた。

(金塚伶)

## 戸井産マグロに初荷最高値

札幌市場は5日午前6時40分から初セリ式を行い、市場関係者が新年のあいさつを交わした。

同市場水産協議会の高橋清一郎会長(カネシメ高橋水産社長)は「昨年は秋サケやホタテの単価高、輸入食材も価格が高く、消費者に対して心苦しい思いがあった。札幌市場を核に生産、流通・加工、

小売が連携し、いっそうの安定供給に努めていこう」と呼び掛け、三本締めを行った。

初荷は前年比6%減の約71ト。鮮魚は日本海産を中心にカレイ類、マダラ、アンコウなど。戸井産クロマグロ(1本187キ)にキロ1万7500円の同市場初荷の最高値が付いた。

(秋由憲司)

## サワラ高値3200円

福岡市場の初セリは5日に終わった。入荷量は前年の初セリ比31%減の166ト(速報値)だった。

主な魚種では、福岡産主体のサワラは3・2トで高値キロ3200円。ヒラスは3・5トで1200円だった。サバは880箱(1箱4キ)で箱4860円。アジは100箱(同2キ)で5400円を付けた。年末は

クエ(アラ)、天然ブリとともに九州産の入荷が低調だった。

午前2時50分からの初市式で入江康浩福岡中央魚市場社長は「市民に開かれた市場づくりと水産物の安定集荷・適正取引に努めていく」と述べた。

(金塚伶)

## 天然活トラフグに2万3000円

山口・南風泊市場(下関市)は、4日午前3時半ごろからフグの袋セリの初市が始まった。トラフグの天然物は外海物を主体に2・8ト(前年は2・5ト)を上場。活大(2キ超)はキロ2万3000~1万9000円と前年より5000~9000円高かった。活小(2キ以下)も1万8000~1万3000円と5000~8000円高の好値。年末年始の

しけで出漁日が減る中、買い気配が強く高値水準となった。養殖物は15ト(同7ト)が上場し、相対相場の水準の3000円前後で売買されたもよう。あいさつで、下関唐戸魚市場の阿部日佐夫社長が、産地分散化など環境変化による課題がある中、業界一体で乗り越える決意を述べた。

(田中龍二)

## 活カワハギに1万5000円

広島市場の水産棟卸売場で5日午前4時すぎから初セリがあり、前年比14%減の108・7トを取り扱った。主力の鮮魚は71・2ト(前年比14%減)で1億2700万円(8%減)、冷凍品は8・6ト(39%減)で1600万円(45%減)、塩干・加工品は29ト(8%増)で6000万円となった。活魚のマルハゲ(カワハギ)にはキロ

1万5000円の高値が付き、市場が盛り上がった。

初セリ前には大発会が開かれ、南部克徳市場長があいさつ。水産物部協議会の山本英治郎会長(広島水産社長)は、「今年は60年に1度のパワフルな年で飛躍の意味がある」とし、市場施設の建て替えが60年後も満足できる設計で進むことを願った。(田中龍二)



# ❖ 2026年 初競り



鹿児島大学発の新技术で  
日本・東南アジア全域の  
水産業DXを実現します

## デジタル化推進の元年

鹿児島市場の初セリは5日午前6時15分、下鶴隆央鹿児島市長の振鈴でスタート。コールドチェーンを確立した高度衛生管理型市場で行われた初セリにサバやアジ、イカなどが並んだ。

初セリ式は市長あいさつの後、山口博久鹿児島水産物卸売業者協会会長が「初セリの入荷量が多いことを喜びたい。

今年は「力強く駆け抜ける馬」のごとく、魚食普及を進める」と述べた。山口憲一郎鹿児島市水産物卸売協同組合理事長は「今年は魚類市場のデジタル化を推進する元年となる。たくさんの魚がさらに集まるよう尽力する」と力を込めた。

(近藤芳樹)

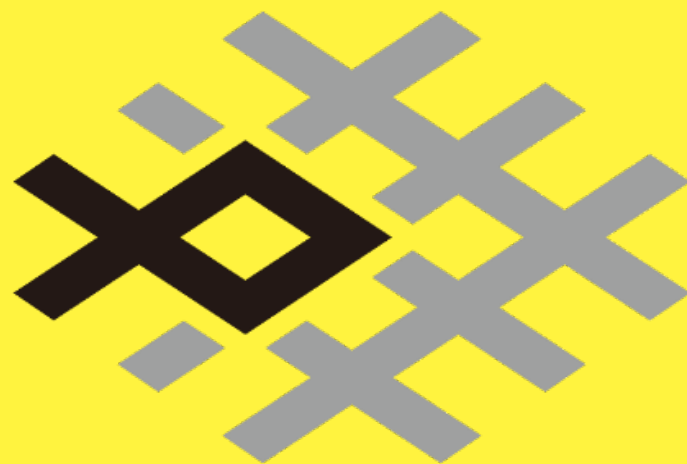
### 鹿児島市場



鹿児島市場の初セリ



# 100年先の食卓にも地魚を



**ZI FISH**  
Fisheries Industry 2.0